

# 導入の工夫

## 教材との出合わせ方を工夫する

### 1年生 国語科「くちばし」(説明的文章)

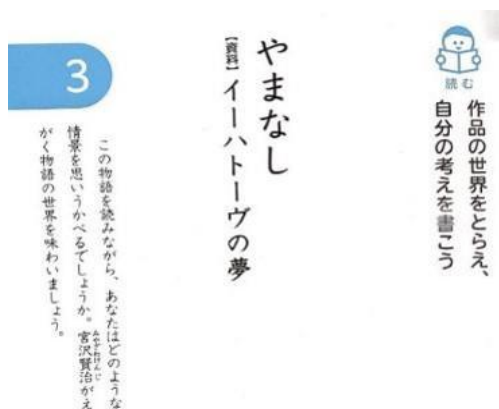


※ 出典 デジタル教科書 光村図書 国語 1年

教材文の最初のページにある写真を見せ、児童にくちばしクイズを出してから読みに入った。

教材についての興味関心を高め、単元末の言語活動である「くちばしクイズ」に向けて導入を工夫した。

### 6年生 国語科「やまなし【資料 イーハトーブの夢】」(文学的文章)

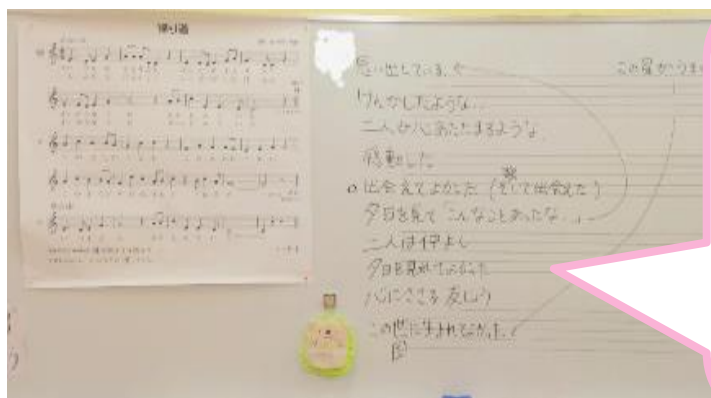


※ 出典 デジタル教科書 光村図書 国語 6年

教材文の最初のページにある写真を見せ、単元のねらい、単元名、リード文を最初に示した。

単元名と挿絵からイメージを膨らませ、初発の感想の観点を広げた。

### 3年生 音楽科「帰り道」(歌唱)



「帰り道」は、曲の雰囲気にとぴったりの美しい伴奏になっている。

音楽室に児童が入室する際、この曲を弾くことできれいな音色に魅せられ、歌唱意欲を高め、その後の歌唱指導に入っていくことができた。

# やってみたい・考えてみたい・話し合ってみたいと思わせる

## 1年生 国語科「くじらぐも」(文学的文章)

教科書にサイドラインを引いたり、付け加えの台詞を書き込んだりさせた。

自分で考えて書き込みをしたことで、友達はどこを選んだのか、どんな台詞を書き加えたのか興味がわき、対話的な学びへつながった。



## 3年生 国語科「ちいちゃんのかげおくり」(文学的文章)

初発の感想を教師がまとめ、色分けすることで意見が同じ児童や異なる児童と交流したいと思わせるようにした。

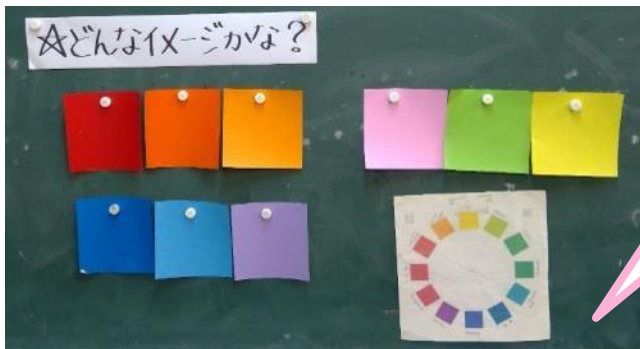
内容ごとにちいちゃんの気持ち・出来事・全体(文章構成)と視点も書き加えた。



児童は、初発の感想を色分けしたシートをもとに、自分と同じ意見の人・違う意見の人に理由を聞きに行きたい、話し合ってみたいと意欲を高めていた。

対話の際には、理由や根拠を尋ねる姿が見られた。

## 4年生 図画工作科「カラフルウォーターパラダイス」



色見本を提示し、色を見て今までの経験や身の回りのものから様々なイメージをもつことができる気付かせた。

児童が納得いくまで、何度もやり直しのできる教材（色水）を提示した。

自分が思った通りの色づくりができるように十分な量の準備をしたことで、興味をもって色水づくりに取り組むことができた。



## 教材や問いに対する自分の学びをもたせる

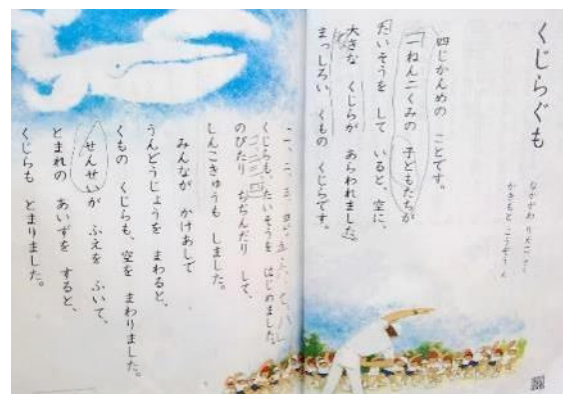
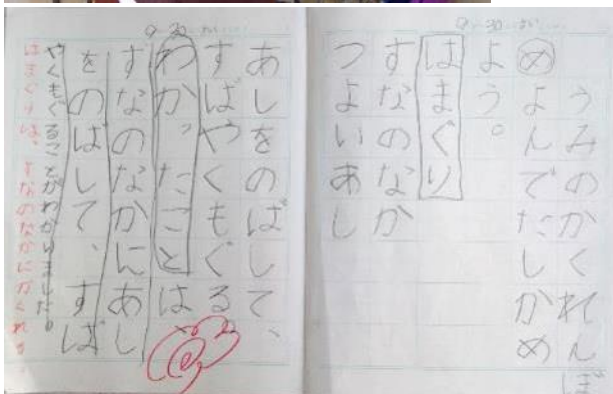
### 1年生 国語科 「うみのかくれんぼ」（説明的文章）

#### 「くじらぐも」（文学的文章）



毎時間ノートに自分の学び（分かったこと・振り返り）を書かせた。

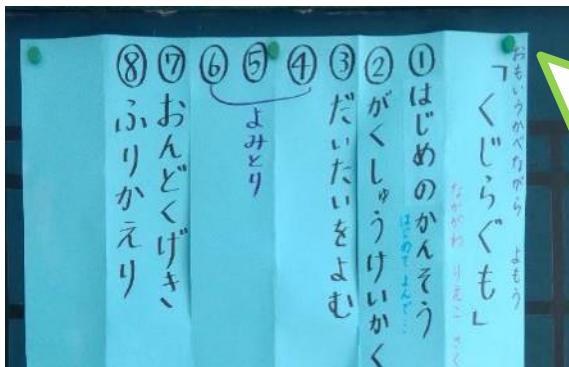
また、教科書にサイドラインを引かせて自分の考えを視覚化させた。



※ 出典 デジタル教科書 光村図書 国語 1年

## 既習の文学的な文章の学び（読み方など）を結び付ける

1年生 国語科「くじらぐも」（文学的文章）



既習の文学的文章である「やくそく」の時に立てた学習計画と結び付けて考えた。

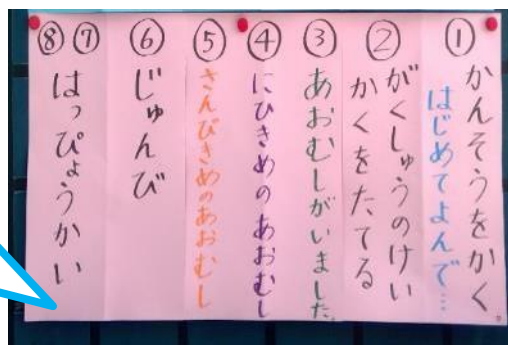
はじめの感想・学習計画・読み取り・言語活動・終わりの感想という流れを共通事項として学習計画を立てた。

## 児童の意欲を引き出したり、見通しをもたせたりするために学習計画を立てさせる

1年生 国語科「やくそく」（文学的文章）

話し合っって学習計画を立てた。

単元末の言語活動であるペープサートの発表会に向けて、読み取りを進めていくという見通しをもたせることができた。



4年生 国語科「世界にほこる和紙」（説明的文章）



単元の終末に自分の調べた伝統工芸品について書き記す「伝統工芸のよさを伝えよう」との複合単元であり、単元の終末にリーフレットの形でまとめるという言語活動を設定してから学習計画を立てた。